

水戸二中学区 青少年育成会だより

発行人 水戸二中学区
青少年育成会

会長 齋藤 直哉

事務局 水戸市立第二中学校

水戸市三の丸2-9-22

TEL 029-224-4422

平成26年7月1日発行

編集：総務広報部会／印刷：二鶴堂印刷所



高橋水戸市長に見守られ（三の丸小）

あいさつには
アイ「愛」がある
～あいさつ運動、実践中!～

(写真は昨年度の様子)



雨二モ負ケズ（水戸二中）



明るく元気に（柳河小）



ホーリー君がお出迎え（五軒小）

私達は平成十一年施行の規約にある「青少年健全育成に地域住民の全てが関心を持ち、水戸二中学区住民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の健全な育成を図ること」を目的として活動しています。

子供たちと共に「あいさつ運動」などの活動を通して学び、気付き、仲間を得、感謝し、地域から社会全体を、より良いものにしていくとうとする強い思いをもつことが必要と感じています。

今年度も各部会の活動に対し、水戸二中学区の皆様の引き続きのご協力をお願い申し上げます。

本会の活動に対しまして、皆様方には日頃よりご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。



水戸二中学区育成会会長

齋藤 直哉

「水戸二中学区
青少年育成会」とは

平成二十六年
定期総会開催

水戸二中学区青少年育成会総会が六月十一日、水戸第二中学校において開催されました。

議事に先立ち、水戸警察署生活安全課長より「最近の青少年の実態について」と題した講話があり、続いて、平成二十五年度事業報告、会計決算・監査報告が行われました。

その中で、平成二十五年度において、総務広報部会で発行される「水戸二中学区青少年育成会だより」が発行されなかった旨の報告が齋藤直哉会長よりあり、それについて、質問等があり、多田前年度総務広報部長よりお詫びと経緯説明がされ、審議の結果、平成二十五年度決算については、了承されました。

なお、本来、昨年度中に広報誌に掲載されるべき、平成二十四年度決算報告については、本紙に掲載することで了承されました。

その他、平成二十六年年度予算についても、原案どおり了承されました。



定期総会の様子

平成26年度 予算

収入総額 1,048,463 円
支出総額 1,048,463 円

1 収入の部

(単位:円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(Δ)	備考
1 会費	513,000	513,000	0	約7,600世帯×0.45×150円
2 補助金	95,000	95,000	0	地域育成活動費、団体活動助成金
3 繰越金	162,847	345,463	182,616	
4 その他	110,022	95,000	Δ 15,022	ふれあい活動助成金、利子等
計	880,869	1,048,463	167,594	

2 支出の部

(単位:円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(Δ)	備考
1 会議費	10,000	10,000	0	役員会、運営委員会等
2 負担金	171,000	171,000	0	地区負担金(50円×3420世帯)
3 事業費	600,000	670,000	70,000	
(1) 印刷費	10,000	20,000	10,000	用紙代
(2) 学区補助費	80,000	80,000	0	各小中学校への補助(20,000円×4校)
(3) 地域家庭部会費	70,000	70,000	0	家庭教育、地域活動等
(4) 社会参加部会費	70,000	70,000	0	社会奉仕活動
(5) 環境非行対策部会費	70,000	70,000	0	社会環境浄化、非行防止活動
(6) 総務広報部会費	180,000	240,000	60,000	広報誌
(7) 青少年部会費	100,000	100,000	0	青少年活動の企画・運営
(8) その他	20,000	20,000	0	大手橋プラムコンサート助成金
4 事務費	20,000	20,000	0	事務用品代等
5 通信費	10,000	20,000	10,000	ハガキ・切手代等
6 予備費	69,869	157,463	87,594	
計	880,869	1,048,463	167,594	

平成26年度役員について

- 会長 齋藤 直哉 (元水戸二中PTA会長)
 副会長 谷中 恒夫 (三の丸小PTA会長)
 副会長 木元 重雄 (新任) (五軒小PTA会長)
 副会長 小田野隆之 (柳河小PTA会長)
 副会長 多田 厚史 (新任) (水戸二中PTA会長)
 会計 角谷 直人 (新任) (水戸二中教頭)
 会計 池田 清美 (中央地区主任児童委員)
 監事 大森 義雄 (三の丸小地区監事)
 監事 白土 文海 (新任) (五軒小地区監事)
 監事 小沼 洋司 (柳河小地区監事)

(平成26年6月11日 定期総会にて承認)

平成25年度 会計決算・監査報告

収入総額 908,536 円
支出総額 563,073 円
差引残高 345,463 円

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 会費	513,000	540,650	27,650	150円×3603世帯、200円×1世帯
2 補助金	95,000	110,000	15,000	地域育成活動費、社会福祉協議会五軒支部助成金
3 繰越金	162,847	162,847	0	
4 その他	110,022	95,039	Δ 14,983	ふれあい活動助成金、団体活動助成金、利子
計	880,869	908,536	27,667	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 会議費	10,000	9,601	Δ 399	役員会、運営委員会等
2 負担金	171,000	164,800	Δ 6,200	地区負担金等
3 事業費	600,000	383,172	Δ 216,828	
(1) 印刷費	10,000	13,172	3,172	インク、トナー等
(2) 学区補助費	80,000	80,000	0	各小中学校への補助(20,000円×4校)
(3) 地域家庭部会費	70,000	70,000	0	家庭教育、地域活動等
(4) 社会参加部会費	70,000	70,000	0	社会奉仕活動
(5) 環境非行対策部会費	70,000	70,000	0	社会環境浄化、非行防止活動
(6) 総務広報部会費	180,000	-	Δ 180,000	広報誌
(7) 青少年部会費	100,000	60,000	Δ 40,000	青少年活動の企画・運営
(8) その他	20,000	20,000	0	大手橋プラムコンサート補助
4 事務費	20,000	4,860	Δ 15,140	用紙代
5 通信費	10,000	640	Δ 9,360	ハガキ・切手代等
6 特別企画費	0	0	0	
7 予備費	69,869	0	Δ 69,869	
計	880,869	563,073	Δ 317,796	

3 差引残高

345,463 円

差引残高については、次年度に繰り越します。

平成24年度 会計決算・監査報告

収入総額 898,501 円
支出総額 735,654 円
差引残高 162,847 円

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 会費	513,000	534,950	21,950	150円×3565世帯、200円×1世帯
2 補助金	100,000	95,000	Δ 5,000	地域育成活動費、団体活動助成金
3 繰越金	158,521	158,521	0	
4 その他	95,479	110,030	14,551	ふれあい活動助成金、社会福祉協議会五軒支部助成金、利子
計	867,000	898,501	31,501	

2 支出の部

(単位:円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(Δ)	備考
1 会議費	10,000	11,120	1,120	役員会、運営委員会等
2 負担金	190,000	160,900	Δ 29,100	地区負担金(50円×3,218人)
3 事業費	590,000	543,758	Δ 46,242	
(1) 印刷費	10,000	5,000	Δ 5,000	用紙代
(2) 学区補助費	80,000	80,000	0	各小中学校への補助(20,000円×4校)
(3) 地域家庭部会費	70,000	70,000	0	家庭教育、地域活動等
(4) 社会参加部会費	70,000	70,000	0	社会奉仕活動
(5) 環境非行対策部会費	70,000	70,000	0	社会環境浄化、非行防止活動
(6) 総務広報部会費	180,000	168,758	Δ 11,242	広報誌
(7) 青少年部会費	100,000	60,000	Δ 40,000	青少年活動の企画・運営
(8) その他	10,000	20,000	10,000	大手橋プラムコンサート助成金
4 事務費	20,000	10,756	Δ 9,244	事務用品代等
5 通信費	10,000	9,120	Δ 880	ハガキ・切手代等
6 特別企画費	0	0	0	
7 予備費	47,000	0	Δ 47,000	
計	867,000	735,654	Δ 131,346	

3 差引残高

162,847 円

差引残高については、次年度に繰り越します。

平成26年度各部会事業計画

地域・家庭部会

- 10月 「家庭の日」 絵画ポスター作文展示会
(場所：水戸芸術館)
- 2月 薬物乱用 防止等作品展

今年は、
ポスターだけ
でなく幅広く
募集します。



環境・非行対策部会

- 8月2日 桜川沿い等の環境浄化活動
- 11月 水戸市一斉環境浄化活動



総務広報部会

- 7月 水戸二中学区
青少年育成会だより (第29号) 発行
- 12月 水戸二中学区
青少年育成会だより (第30号) 発行

写真は
いずれも
昨年度の活動
の様子です。

育成会の各事業は、地域のみなさまのご参加とご協力により
成り立っております。
本年度もよろしくお願いいたします。

社会参加部会

- 6月 水戸市少年の主張大会への参加
- 12月 親子料理教室
「親子簡単クッキング」(場所：二中)

昨年度
「親子 de 料理教室」
テーブルコーディ
ネートの様子



青少年部会

- 7月19日 第25回五軒サマーナイト
コンサート&ふれあいまつり参加
- 3月 柳河ふれあいまつり
- 3月 さんさんまつり



水戸第二中学校の正門脇にある「二の丸展示館」は、水戸二中改築工事に伴う発掘調査で発掘された文化財、水戸二中所蔵の「大日本史」や「水戸城年表」「水戸城実測図」等の展示がされています。

この展示館のボランティアとして来訪者への解説をされている小堀優さんは、元小学校の校長先生も勤められました。現役時代は数学を教えられていたのですが、社会の先生だったのではと思うほど、水戸の歴史に詳しく、丁寧な解説が好評で地域のタウンニュースにも紹介されました。



水戸城も日本百城めぐりのひとつとして、お城巡りの方訪れる方もいます。

そういった方に対しては、水戸城の解説をするといった配慮もされています。

小堀先生は、この展示館について、「水戸城の趣を残す彰考館の跡地である二の丸の、この地にあることが非常に意義がある」とお話しされていました。

また、水戸二中には、「水戸二中八景」があり、館内には、それぞれの写真と水戸の名文（弘道館記他）を結びつけた解説が展示されています。また、水戸二中生の作品展示もあり、「もっと、市内の人たちに気軽に来ていただきたい」と話していました。



写真左 ← 来訪者に説明する小堀優先生



あなたも水戸の歴史通

特集!

この春、震災以降休館されていた弘道館が、一般公開を再開し、平日、休日に関わらず来訪者が増えています。県外からの来訪者も多くなっています。本誌では、以前にも、水戸の歴史にちなんだ特集をお届けした経緯があり、彰考館の歴史を伝えるスポットとして、注目されている「二の丸展示館」をご紹介します。

県外からの来館者が多く、北は北海道から南は沖縄県までと広範囲に渡ります。

宇都宮市からご家族三人で来館した小堀さん親子（写真下↓）は、偶然にも同じ名前前の小堀先生の説明に熱心に聞き入っていました。弘道館をこれまで訪れたことのなかった息子さんの車でドライブがてら訪れ、偶然、「二の丸展示館」を見つけて立ち寄ったそうです。

また、来館者名簿には、スウェーデンやドイツなど外国からの方のお名前もありました。台湾の方も多いようです。アメリカのメリーランド大学のウイリアム・B・ウォルター博士ご夫妻（写真左←）は、日本で開催された国際会議出席の後、水戸を訪れたそうです。歴史愛好家の訪れるスポットに散歩がてら立ち寄ってはいかがでしょうか？



集後記

小 ちよ で、 いう まし 出た 弦は 弛め に、 き締 する こと 斉昭 い修 弛め 借築 施設 た。 戸に び、 は今 生に 広報 する

